

指導と評価の年間計画（地理歴史科）

教科(科目)	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
世界史 A	2 単位	第 1 学年	世界史 A (社)	世界史図表(社)

到達目標 【学習指導要領】	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の展開を、近現代史を中心に扱う。 ・日本人にとっての世界史という観点から、我が国の歴史と関連付けて理解させる。 ・世界の歴史の理解を踏まえて、現代の人類が直面する課題を政治、経済、文化、生活など様々な観点から考察させる。 ・世界の構造や成り立ちを歴史的な視野から考察する能力を培う。 ・民主的、平和的な国家・社会の一員としての自覚、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。
到達目標に向けての具体的な取組 【指導上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に即して基本的な事項・事柄を精選して指導内容を構成するものとし、細かな事象や高度な事項・事柄には深入りしない。 ・諸地域世界、交流圏、国際関係の展開などを取り扱う際、比較文明的視点も考慮するとともに、各時代における世界の中に日本を位置付けて考察する。 ・風土、民族の扱い、人類の課題の考察、歴史地図の活用などについては、地理的条件との関連に留意する。

月	進 度 (単 元 ・ 章 ・ 項)	指 導 内 容 (項 目 / 活 動)	評 価 方 法	評 価 の 観 点
4	(1) 諸地域世界と交流圏 (前近代)	風土、民族、宗教などに着目させながら、ユーラシアを中心に形成された諸地域世界の特質を把握させる。また、諸地域相互の交流に触れ、世界の一体化につながる交流圏の成立に気付かせる。 ・東アジアの風土と諸民族、漢字文化、儒教、中国を中心とする国際体制に触れ、日本を含む東アジア世界の特質を把握させる。 ・南アジアの風土と諸民族、仏教の成立、ヒンドゥー教とカースト制度、イスラームの影響に触れ、南アジア世界の特質を把握させる。 ・西アジアの風土と諸民族、イラン文明の伝統、イスラームの成立と拡大に触れ、イスラーム世界の特質を把握させる。 ・ヨーロッパの風土と諸民族、ギリシア・ローマ文明の伝統、キリスト教に触れ、ヨーロッパ世界の特質を把握させる。 ・8世紀以降の諸地域世界の交流の深まりに触れ、ユーラシア規模の交流圏の成立とそれを支えた都市や港のネットワークを把握させる。 ・イタリア商人による東方貿易とイスラーム文明のヨーロッパへの流入を中心に、ユーラシア、アフリカとつながる地中海交流圏の成長を把握させる。 ・元の大都會を拠点とする東西交流と黄海や東シナ海における交易の活性化、倭寇、勘合貿易、琉球王国の交易活動を中心に、日本列島を含む東アジア海域の交流圏としての成長を把握させる。 前近代の歴史を、諸地域の特質と相互の交流を、時間的にも空間的にも大きく歴史をとらえる。	受講状況の観察	関心・意欲・態度
	東アジア世界 南アジア世界 イスラーム世界		受講状況の観察 1 学期中間考査	関心・意欲・態度 知識・理解、思考・判断
6	ヨーロッパ世界 ユーラシアの交流圏 (2 項目を選択)	・地中海海域とユーラシア ・東アジア海域とユーラシア	受講状況の観察	関心・意欲・態度
	ノート提出 1 学期期末考査		意欲・態度、技能・表現 知識・理解、思考・判断	
8			夏の課題	意欲・態度、技能・表現
9	(2) 一体化する世界	16世紀以降の世界商業の進展と産業革命後の資本主義の確立を中心に、世界の一体化の過程を理解させる。その際、ヨーロッパの動向と日本などアジア諸国の対応に着目させる。 ・大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアとの接触・交流を扱い、16世紀の世界の一体化への動きを理解させる。 ・アジアの諸帝国の政治と社会、ヨーロッパの主権国家体制の成立、大西洋貿易の展開を扱い、17世紀及び18世紀の世界の特質を理解させる。 ・産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展、拡大する貿易活動を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける資本主義の確立と国民形成を理解させる。 ・ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中で日本の対応を扱い、19世紀の世界の一体化とその特質を理解させる。	受講状況の観察	関心・意欲・態度
	大航海時代の世界 アジアの諸帝国とヨーロッパ ヨーロッパ・アメリカの諸革命		受講状況の観察 2 学期中間考査	関心・意欲・態度 知識・理解、思考・判断
11	アジア諸国の変貌と日本		受講状況の観察 ノート提出	関心・意欲・態度 意欲・態度、技能・表現
12	(3) 現代の世界と日本	地球規模で一体化した現代世界の特質と展開過程を理解させ、人類の課題について考察させる。その際、世界の動向と日本とのかわりに着目させる。 ・輸送革命、マスメディアの発達、企業や国家の巨大化、社会の大衆化と政治や文化の変容、公教育の普及と国民統合などを扱い、20世紀という時代の特質を人類史的視野から把握させる。 ・第一次世界大戦と第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響を理解させ、平和の意義などについて考察させる。	受講状況の観察	関心・意欲・態度
	急変する人類社会 二つの世界戦争と平和		2 学期期末考査	知識・理解、思考・判断
1	米ソ冷戦とアジア・アフリカ諸国	・第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。	受講状況の観察 課題(主題学習)	関心・意欲・態度 意欲・態度、技能・表現
2	地球社会への歩みと日本 (主題学習：現代の世界が当面する課題について主題を設定し、主体的な追究を通して考察させる)	・1970年代以降の市場経済の世界化や地球規模での問題の出現を理解させ、日本が世界の諸国、諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向などについて考察させる。 ・冷戦終結後の世界で起こった地域紛争の原因や歴史的背景を追究させ、国際社会の変化や国民国家の課題などについて考察させる。	受講状況の観察	関心・意欲・態度
3	・地域紛争と国際社会 ・科学技術と現代文明	・原子力の利用、情報科学、宇宙科学の出現など現代の科学技術の人類への寄与と課題を追究させ、人類の生存と環境、世界の平和と安全などについて考察させるとともに、国際的な交流と協調の必要性に気付かせる。	ノート提出 発表 学年末考査	意欲・態度、技能・表現 技能・表現 知識・理解、思考・判断

評価の観点・方法 出席状況 定期考査・・・思考・判断、知識・理解（年5回：5月下旬、7月上旬、10月下旬、12月上旬、3月上旬に行います。） 提出物・・・意欲・態度、技能・表現（課題などの提出物は、必ず提出してください。） 授業への取組・・・関心・意欲・態度、知識・理解、思考・判断、技能・表現 履修上の留意点：3年生で、古代から現代に至る世界の歴史を学ぶ「世界史B」を選択して学ぶことができます。
--